

銚子ジオパーク市民の会ニュース



屏風ヶ浦(銚子)

第 100 号
2019年9月25日 発行
発行責任者 工藤 忠男
編集責任者 藤身 隆雄
TEL 0479 24 2225
<http://choshi-geopark.com/>

市民の会ニュース100号のご挨拶

会長 工藤 忠男

市民の会ニュースが100号になりました。おめでとうございます。市民の会ニュースは市民の会の歴史

そのものでもありますが、編集委員会の皆様本当にありがとうございます。

千葉科学大学の安藤研究室からスタートした市民の会ですが、設立総会を経て8年がたちました。最初、数名からスタートした市民の会も、今は300名を超える大きな市民団体になりました。これは、銚子市民の皆様が市民の会の日頃の活動を暖かく見守ってくれ理解してくれたと同時に、市民の

市民の会ニュース 100号記念特集

市民の会の歴史そのものでもありますが、編集委員会の皆様本当にありがとうございます。市民の会は銚子ジオパーク推進協議会の一員として、今までの活動を続けると同時に、新しい事にもチャレンジしていきたいと思えます。これからも、銚子市民の皆様が市民の会の活動状況をお伝えくださいます。



銚子ジオパークニュース100号達成 おめでとうございます。

この間、銚子ジオパーク市民の会の活動が、活発に継続していることに、敬意を表します。そして、今後も150号、200号と本誌が続くことを祈念いたします。

以下、最近市内で話題となっている洋上風力発電関係のトピックを紹介いたします。

本年7月30日、経産省と国交省は、洋上風力発電の開発を先行的に進める「有望な4区域」の1つとして、銚子の名洗沖エリアを指定しました。これを受けて、東電ホールディングス(ED)は、9月2日、地域に最大37万kWの洋上風力発電を建設するための環境アセスメントの申請を千葉県に対して行いました。順調に進めば、2021年末頃には環

期待される洋上風力発電、今後の展開

千葉科学大教授 安藤 生大

境アセスの手続きは終了すると思われ。今年度中に銚子沖が「促進区域」に指定された後には、2020年9月までに事業者の公募が行われ、2020年度末には事業者の選定が行われます。東電HDのアセス概要書によると、同社が業者選定された場合、2022年度以降に基礎工事を開始し、2023年度以降に電気工事を開始し、2024年度以降の運転開始を予定しています。つまり、5年後には、銚子の洋上に、たぶん世界最大級(8MW〜10MW)の風力発電設備が3基〜4基建設され、名洗港はメンテナンス基地として生まれ変わります。

トリーにいかに取りこむか、知恵の出どころです。この変化を、ぜひ、前向きに受け止めて、銚子ジオパークの発展に組み込むことを期待します。

100号おめでとう!!

文化財班 赤塚 弘美

私も最近、文化財のガイドをすることが多くなり、銚子の魅力をたくさん伝えたいので、あれもこれも話したいという思いでいっぱいです。でも、自分の思いだけを伝えるだけでいいのでしょうか。もちろん、銚子にも興味を持ってもらいたいくけど、ガイドすることは、そのお相手が住んでいる地域の文化財や地域の歴史文化に興味を持ち、大切にしようという気持ちや育むきっかけ作りととらえることはできないでしょうか。

そうなるとう一方通行の話にせず、お客様と会話をすることが大切であると思っています。ジオパーク活動も同じではないかと思っています。ジオパーク活動を始めた頃、若宮神社に集まって話をしたことや、最初は距離が近かったが、話をしたこと、わかり合えたこともあったと感じています。100号達成おめでとうございます。来年度の審査に向けて、気張らずに頑張ってください。